

難」など人材不足の点、「支援が増えても区分は上がらない」「事業所に通えなくなる方が急に増える可能性がある一方で、新規利用者の獲得は困難」など利用者の高齢化に伴う問題点、「報告書類の増加」など事務に携わる時間が直接支援を行う時間を駆逐している点などの紹介がありました。これらの点については、大阪市育成会とも共通する課題であり、解決に向けた検討、努力を継続していかなければなりません。人材確保の点については、松崎専門官から「就職フェスタに行った時、学生が行列をつくっていたのは、給与面でアドバンテージのある事業所ではなく、法人の歴史、理念を語っているところであった。学生は決してお金だけで進路を決めているわけではない」との発言がありました。私たちもそれを信じて、リクルート活動を行いたいと思います。

一日だけの研修でしたが、共通の悩みを抱える同志が情報交換することで、たくさんのエネルギーを吸収できた機会となりました。(T. U.)

ンを使って軽やかに踊るダンスシーンは華やかでとても楽しかったです。舞台がオーストリア(ウィーン)とドイツ(ミュンヘン)ということでお洋服などもチェック柄やパステルカラーを使用していて、目で見ても楽しめます。ロッセとルイーゼの二人の性格は、おしとやかとお転婆で全く逆なのですが、雰囲気がとてもよく似ていて、ハモリなんかは見事にそろい可愛いすぎる双子。家族皆で暮らすためにパパとママに必死に想いを伝えようと涙するロッセとルイーゼの姿には、真摯な思いが伝わってきて思わずこちらも涙が溢れてきました。ホッコリと優しい気持ちにさせてくれる心暖まる物語でした。」(東成育成園 岡村さんのお姉様より)



大阪市育成会会員だより

**2024日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」
『第48回クリスマスチャリティー公演』に
ご招待いただきました**

12月2日(月)に泉ヶ丘のビッグ・アイで開催された2024日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」主催の「第48回クリスマスチャリティー公演」劇団四季のミュージカルに当会の会員30名がご招待いただきました。

当日の会場は大きなクリスマスツリーやサンタクロースのお出迎いで、一足早いクリスマスの雰囲気に包まれていました。

このチャリティー公演は、昭和51年から始まり、日産労連の組合員さんお一人お一人が毎月100円ずつ出し合われた福祉基金を基にNPOセンター「ゆうらいふ21」を設立され、2004年から福祉活動の一環として、子どもたちに夢や希望・心の豊かさをプレゼントしようと劇団四季の皆さんと共に全国で招待公演を開催されています。

今年の演目は劇団四季の人気のファミリーミュージカル『ふたりのロッセ』。離ればなれで暮らす双子の女の子ロッセとルイーゼがひょんなことから出会い、力を合わせ再び家族の絆を取り戻そうと奮闘する心温まる物語です。

観劇された会員の方から感想を頂きましたので、ご紹介いたします。

「バレエ要素が盛り沢山で特に女の子たちがタンバリ

《1月支部連絡会について》

- ・日 時：1月23日(木) 13:00～
- ・場 所：社会福祉センター 第1会議室

活動報告(11月16日から12月15日まで)

活動日	内 容
11/17	「仲間づくりの教室」(阿倍野市民学習センター)
12/2	近畿ブロック役員会(WE B会議)
12/3	年金学習会(東淀川支援学校)
	大阪市街頭キャラバン出発式・要望書提出(大阪市役所)
12/6	学校運営協議会(府立難波支援学校)
12/11	大阪知的障害児者生活サポート協会作品展示会表彰式(ビッグ・アイ)
12/15	長居障がい者スポーツセンター50周年記念式典(長居障がい者スポーツセンター)